

小金沢山(2014m)山行報告

【山行日】2016年11月3日(日) 晴れ
【集合】岩舟支所P AM 4:30
【費用】マイカー2台 : 4,500円
【メンバー】CL:鈴木ユ 梶内、大西、島田、
関、津佐、福田、藤原、渡辺
【コースタイム】岩舟支所P4:30=湯ノ沢峠P6:
45/7:05~黒岳8:20~牛奥ノ雁ヶ腹摺山9:35/9:45
~

小金沢山10:20/10:35~牛奥ノ雁ヶ腹摺山11:
10/11:50~黒岳13:10~湯ノ沢峠14:20/14:35=
道の駅「やまと」15:05/15:20=岩舟支所P17:15

以前から、皆さんに秀麗な富士山を見せたいと
思っていた小金沢山山行を、やっと実現できた。

8年くらい前に下見山行で歩き、これほど富士山が美しい山はめったに無いと気に入ったコースである。
圏央道から中央自動車道に入り、勝沼ICで降りJR甲斐大和駅の先を左折し、日川沿いに北上する。



線に見える。ここからモミやシラビソなどの黒木の尾根を一登りすると、黒岳山頂に着く。小休止後、苔むした深い樹林帯の中を進み、川胡桃沢ノ頭から下ると、賽ノ河原と呼ばれる笹の平坦地に着く。

ここから笹の中の急坂を登り返すと、明るく開けた牛奥ノ雁ヶ腹摺山山頂へ着く。ここからの眺望も素晴らしく、富士山も日差しを受けより鮮明に見え、南アルプスもくっきりと見えた。大休止しリンゴやラスクを食べ、エネルギーを補給する。昼食はここまで戻って食べるので、「ザックをデポして良いですよ。」と言ったが2名だけデポし、他の人はザックを背負って小金沢山に向かう。ここから樹林帯と明るい笹原を交互に歩き、開けた山頂に標識が見えあつてなく小金沢山頂に着いてしまった。地図では1時間のコースタイムであったが、わずか35分で小金沢山に到着した。山頂からの視界は少し狭まるが、富士山の姿が一番美しく見える。のんびり眺望を楽しみ、記念写真を撮ったら下山する。下山は来た道に戻り、アツと言う間に牛奥ノ雁ヶ腹摺山に到着した。山頂には何組か登山者が居り、その後も次々と登っ

やまと天目山温泉の先を左折し、焼山沢真木林道を20分程走ると湯ノ沢峠の駐車場に着く。駐車場は十数台止められ、右下に避難小屋があり立派なトイレも完備しているが水場は無い。トイレとストレッチを済ませて出発し、すぐに湯ノ沢峠に出る。右に行くと大蔵高丸からハマイバ丸への道。我々は左に進み、黒岳から牛奥ノ雁ヶ腹摺山を目指す。ササヤブの狭い道を登り、途中から深くえぐれた道を北に登って行く。やがて花崗岩が風化し急登になり、白谷ヶ丸のカヤトのドームとなり大展望が開ける。南に秀麗な富士山が三ツ峠山を従えて大きく見え、西側には南アルプスの山々が甲府盆地の上に一直



て来る。山頂の一角に陣取り、ランチタイムとする。今日の山ご飯は、温かいけんちんうどん。富士山や南



アルプスの山々を眺めながらいただく温かいうどんは、どんな御馳走よりも美味しく感じた。お腹いっぱいになったら下山する。来た道を下りたつもりだったが、どうも景色が違う。トレイルランの2人が降りて来たので聞くと、我々と同じく湯ノ沢峠に向かうと言う。「道が間違っていないですか？」と言って地図を見ると、日川林道へ降りる道らしい。登り返して正規の道に戻り、トレランの2人も「助かった」と言っていた。往復10分程アルバイトしたが、無事戻り事なきを得た。

日川林道への道は、我々の地図には無かったがトレランの方の新しい地図にははっきりと載っていた。

賽の河原から黒岳に登り返し、白谷ヶ丸で最後の休憩を取る。富士山を眺めながら、冷たいナシをいただき「こんな良い山に登れて幸せだね。」と誰かが言っていた。ここから急な下りを慎重に降り、笹藪の細い道を下ると湯ノ沢峠に着いた。トイレを済ませ、荷物を積んで帰路につく。

途中の道の駅「やまと」と狭山PAで買い物をし、予定よりも少し早く岩舟支所に帰着出来た。

